

●つなぐ ～この愛を永遠に～

「つなぐ～この愛を永遠に～」は、自分たちの時代だけで終わるのではなく、次世代に繋ぎ、野々市太鼓 結が永遠でありますように願いを込めて、代表吉川美千代が作曲いたしました。

●松籟譜 ～六段の調～

松籟譜は、初代家元中島雅楽之都（なかじま うたのいち）作曲、箏の器楽曲です。曲名は、松の梢に吹く風が（松籟箏の音に通う意）にちなんで命名されたそうです。六段の調は、六段といわれ六の段からなり、初段冒頭の4拍を除くと全て五十二拍子から出来ております。

[第2部] 第九・歓喜の歌

●交響曲第9番 二短調 作品125 第4楽章 歓喜の歌

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンが1824年に作曲した独唱と合唱を伴う交響曲。ベートーヴェンの9番目にして最後の交響曲であり、多くの批評家や音楽学者によってベートーヴェンの最高傑作に位置付けられるだけでなく、西洋音楽史上最も優れた作品の1つに数えられている。

第4楽章の旋律は有名な「歓喜の歌（喜びの歌）」で、フリードリヒ・フォン・シラーの詩『歓喜に寄す』から3分の1程度を抜粋し、一部ベートーヴェンが編集した上で曲をつけたものであり、4人の独唱と混声合唱を伴って演奏される。



ソプラノ独唱 韓 錦玉 (Han Kum-Ok)

大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。ドイツ、ワイマール・フランツ・リスト音楽大学に留学。

ドイツ、アルテンブルク劇場にて専属ソロ歌手として契約。帰国後、NHK-FMリサイタル出演。第7回J.S.G国際歌曲コンクール入選。武庫川女子大学音楽学部非常勤講師を経て現在は石川県に在住し活動中。日本ドイツリート協会会員。



アルト独唱 前澤 歌穂 (Maezawa Kaho)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、イタリア国立アッリーゴ・ボイトパルマ音楽院修了。

2019年北陸新人登竜門コンサート優秀者として、オーケストラ・アンサンブル金沢と共演。2019年～2022年にわたり、金沢の風と緑の楽都音楽祭で各地のオーケストラと共演。また、オルガニスト原田真倫と2020年彩の国さいたま芸術劇場、2021年川口リリアで共演。



テノール独唱 近藤 洋平 (Kondo Yohei)

オペラ・ミュージカルの出演に加え、脚本・作曲も手掛ける「テノール・ソングライター」。第三回横浜国際音楽コンクール声楽部門大学の部第1位。第十三回大阪国際音楽コンクール声楽部門 Age-U 第2位。2019年の朗読歌劇「熱の刻印」、2020年の音楽劇「天使たちの小言」の脚本・作曲・出演を、2022年のTiny Opera「義血侠血」の作曲・出演を兼任。YouTubeでは独創的な動画を公開。



バリトン独唱 門田 宇 (Kadota Takashi)

富山県立呉羽高等学校音楽コースを経て、国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。国立音楽大学卒業演奏会出演。第77回読売新人演奏会出演。ヘンデル『メサイア』、ベートーヴェン『交響曲第九番』、モーツァルト『レクイエム』、フォーレ『レクイエム』、交声曲『日蓮』などのソリストも務める。

現在『富山あざみ女声合唱団』『男声合唱団ジョイフル・フレンズ』『男声合唱団K&クルー』『歌声倶楽部コール・YOU』『新湊合唱クラブ』『Cicエンジョイコーラス』『混声合唱 Mitu』『マンドリンアンサンブル カンティナーナ』指導指揮。『富山カルチャーセンター』講師。『Life is Music』主宰。個別・グループボイストレーニング講師。『男声ボーカルユニットhoBBit』代表。『混声ボーカルユニットCapella』メンバー。県内のレストラン、カフェなどでディナーショーを開催。ジャンルを問わずあらゆる世代に共感できるような音楽を目指し日々活動している。

【琴伝流大正琴 兼照会カメラア】



私達、琴伝流大正琴 兼照会は、約25年前に自山市で誕生し、平成27年9月に野々市市で演奏活動を始めました。琴伝流は、ソプラノ、アルト、テナー、ベースの4種類の大正琴を使ってアンサンブルするのが特徴です。少人数でもかなりの迫力があります。その魅力に取りつかれ、いろいろな曲に挑戦し、練習に頑張っています。

椿オリジナルステージ、のいちマナビフェスタ、北国街道野々市の市、音文協創立40周年記念コンサート。今日の祝賀コンサートの機会をいただき励みとなっています。来年は石川県で国民文化祭が開催されます。私達も琴伝流大正琴で参加します。演奏の機会が増えました。とても楽しみにしています。

【野々市太鼓 結】



太鼓を通じ人と人との繋がりを大切に、地域のイベントに参加しております。現在メンバー募集中です。

【正派邦楽会 大師範雅瑜峰会 (小坂雅瑜峰)】



2011年野々市町が野々市市となりました年野々市音楽文化協会入会。今年で10年となります。発表の場を与えて戴き嬉しく思っています。美しい箏の音色にふれていただきたく、いつでもお声掛けてください。

【モーツァルトアカデミー室内管弦楽団】



私たちの楽団は、演奏活動による地域の音楽文化向上と音楽教育の発展を目的に1996年に結成し、学生から社会人まで幅広いメンバーが集まり、月に2回程度日曜日に練習をしています。日頃は市内施設にて定期演奏会やクリスマスコンサートを開催し、クラシック音楽から映画音楽まで様々なジャンルの曲を演奏しています。

この度は、市民の皆さんと第九を演奏する機会に恵まれ大変嬉しく思っています。